

自分を守る！

ビジネスにつなげる！

社会貢献をする！

23 円滑な医療体制を構築している例 / その他の事例

1.

2. サプライ関連事業者

3.

4.

薬剤師派遣による医療支援活動

事例番号 176

公益社団法人日本薬剤師会

■業種：医療、福祉

■取組の実施地域：岩手県、宮城県、福島県

- 公益社団法人日本薬剤師会では、東日本大震災の際に、被災3県(岩手県、宮城県、福島県)および茨城県に対して、派遣人数等を県薬剤師会と調整の上、全国から薬剤師を派遣し、①医薬品集積所等での医薬品の仕分け・管理、救護所・避難所への払い出し作業、②救護所・仮設診療所等における被災者に対する調剤及び服薬説明、③医療チームに同行して、避難所等における処方支援・医薬品の識別・代替医薬品の選択、それに伴う服薬説明等、④各避難所を巡回し、医薬品に関する相談応需・服薬説明、一般用医薬品の適切な使用相談、⑤避難所等における衛生管理、防疫対策への協力等を行った。
- 全国の薬剤師が支援活動に参加しやすくなるよう、全国11ブロックを3つに分け、岩手・宮城・福島の3県別に支援する担当ブロックを定め、組織的に派遣・支援を行うスキームを構築した。その結果、震災発生後の4ヶ月で、被災3県を除く44都道府県薬剤師会より、実人数2,062人、延べ8,378人の薬剤師が被災地に出動し、支援活動を行った。
- 救護所や避難所等に避難された住民の中には、慢性疾患等で継続服用している薬剤名を確認するのが困難な例が多かったが、派遣薬剤師が患者から病歴や服用薬剤の色や形等の情報を聞き取り、服用薬剤を特定して医師に情報提供を行うなどの活動を行った。